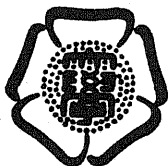


第141号



お茶の水女子大学学报

平成 3 年 7 月 1 日
お茶の水女子大学庶務課

目 次

- ◇関係法令 1
- ◇人 事 2
- ◇学 事 4
 - 人文科学研究科日本語文化専攻（新設）
 - 入学式について 4
 - 平成 4 年度大学院家政学研究科（修士課程）
 - 募集要項 5
 - 平成 3 年度科学研究費補助金配分決定一覧 9
 - 平成 3 年度お茶の水女子大学公開講座要項 11
 - 学生の在籍数等について 13
- ◇諸 報 15
 - 名誉教授称号授与について 15
 - 外国人留学生懇談会について 15
 - 海外渡航 15
 - 研 修 16
 - 訃 報 16
- ◇日 誌 16

関 係 法 令

【法 律】

- 国家公務員退職手当法の一部を改正する法律
（法律第51号、5月2日官報）
- 児童手当法の一部を改正する法律
（法律第54号、5月2日官報）
- 消費税法の一部を改正する法律
（法律第73号、5月15日官報）

【政 令】

- 日本体育・学校健康センター法施行令の一部を改正する政令（政令第151号、4月26日官報）
- 国家公務員退職手当法施行令の一部を改正する政令
（政令第156号、5月2日官報）
- 児童手当法施行令の一部を改正する政令
（政令第178号、5月24日官報）
- 消費税法施行令の一部を改正する政令
（政令第201号、6月7日官報）

【省 令】

- 日本体育・学校健康センター法施行規則の一部を改正する省令（文部省令第22号、4月30日官報）
- 国立の学校における授業料その他の費用に関する省令の一部を改正する省令（文部省令第23号、6月1日官報）
- 大学設置基準の一部を改正する省令（文部省令第24号、6月3日官報）
- 大学院設置基準の一部を改正する省令（文部省令第25号、6月3日官報）
- 学位規則の一部を改正する省令（文部省令第27号、6月3日官報）
- 教育職員免許法施行規則の一部を改正する省令（文部省令第30号、6月10日官報）

【告 示】

- 平成3年度における学芸員資格認定を実施する件（文部省告示第59号、5月24日官報）
- 児童福祉法施行規則第39条の2第1項第3号の保母を養成する学校その他の施設の修業教科目及び履修方法の一部を改正する件（厚生省告示第121号、5月30日官報）
- 同上法施行規則第40条第1号の規定に基づく厚生大臣の定める者の一部を改正する件（厚生省告示第122号、5月30日官報）
- 大学設置基準第29条第1項の規定により、大学が単位を与えることのできる学修を定める件（文部省告示第68号、6月5日官報）
- 学位規則第6条第1項第3号の規定により、同項第1号及び第2号に掲げる者と同等以上の学力がある者を定める件（文部省告示第72号、6月5日官報）

人 事

◎常勤職員

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	異 動 区 分	異動前の所属・官職
3.5.30	清 水 碩	理学部長事務代理（命）	公 の 名 称	（理学部教授）
3.6.3	小 館 ゆたか	任用更新 任期3.7.26まで	臨時的任用	（附属小学校教諭）
3.6.10	馬 場 昭 次	教授（理学部）	昇 任	助教授（理学部）
〃	清 水 碩	理学部長事務代理（免）	公 の 名 称	（理学部教授）
3.6.12	神 戸 佳 子	育児休業許可 期間4.3.31まで	休 職	（附属小学校教諭）
〃	橘 静 恵	附属小学校教諭 任期4.3.31まで	臨時的任用	

◎非常勤職員

発令年月日	氏名	異動内容	期間	備考
3.4.25	下尾由美	教務補佐員(理学部)	3.4.25~3.9.30	
3.5.1	鈴木啓子	教務補佐員(文教育学部)	3.5.1~4.3.31	
〃	谷澤容子	教務補佐員(家政学部)	〃	
〃	高橋和子	〃	〃	
〃	伊藤公恵	〃	〃	
3.5.25	ノリタ・サンセダ	〃	3.5.25~4.3.31	
3.5.27	山野井慶子	事務補佐員(庶務課)	3.5.27~4.3.30	
3.5.31	松林純子	辞職承認		文教育学部
〃	横村愛	〃		家政学部
3.6.1	福島わかば	事務補佐員(附属図書館)	3.6.1~4.3.31	
〃	岡野桃子	事務補佐員(学生課)	〃	
〃	岡本憲子	〃	〃	
〃	工藤かおり	〃	〃	
〃	廣川久	事務補佐員(附属高等学校)	〃	
〃	小玉安恵	教務補佐員(文教育学部)	〃	
〃	土谷桃子	〃	〃	
〃	竹内理恵子	〃	〃	
〃	久保田裕子	教務補佐員(大学院人文科学研究科)		教務補佐員 (文教育学部)
3.6.16	建部恵美子	事務補佐員(会計課)	3.6.16~4.3.30	
3.6.21	霜山純子	辞職承認		文教育学部
3.6.27	大井深雪	〃		学生課
3.6.30	近藤恵	辞職承認		家政学部
3.7.1	腰塚みのり	事務補佐員(附属図書館)	3.7.1~4.3.30	
9 〃	高澤佐紀子	教務補佐員(家政学部)	3.7.1~3.9.30	

◎非常勤講師

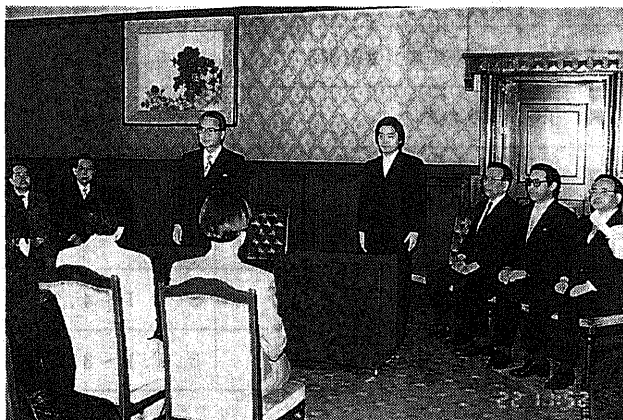
発令年月日	氏名	異動内容	期間	備考
3.6.1	辻本和雄	講師(理学部)	3.6.1~3.9.30	電気通信大学教授
〃	畑中信一	〃	〃	東京大学教授
〃	石田勉	講師(家政学部)	3.6.1~3.11.30	附属中学校教諭
3.6.11	熱海則夫	併任解除		講師(家政学部)
3.6.12	〃	講師(家政学部)	3.6.12~3.9.30	
3.7.1	流田直	講師(文教育学部)	3.7.1~3.9.30	附属小学校教諭
〃	宮下芳勝	講師(理学部)	〃	豊橋技術科学大学 助教授
〃	海津洋行	〃	〃	東京工業大学教授
〃	廣田洋	〃	〃	東京大学助手
〃	野田亮	〃	〃	癌研究所部長
〃	三井洋司	〃	〃	微生物工業技術研究 所技官
〃	伊藤隆二	講師(家政学部)	〃	横浜市立大学教授

学 事

○人文科学研究科日本語文化専攻(新設)入学式について

人文科学研究科日本語文化専攻の入学式が4月22日(月)大学会議室に於て行われた。

入学者 15名



(人文科学研究科日本語文化専攻入学式)

○平成4年度お茶の水女子大学大学院家政学研究所（修士課程）
学生募集要項

1. 専攻名及び募集人員

専攻名	募集人員
児童学専攻	8
食物学専攻	10
被服学専攻	8
家庭経営学専攻	6

2. 修業年限 2年

3. 出願資格 下記に該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者及び平成4年3月卒業見込の者
- (2) 本学の大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めたる者

4. 選考方法 入学者の選考は、筆記試験、口述試験及び調査書等を総合して決定する。

5. 出願手続

- (1) 入学願書・写真票及び受験票（用紙は本学所定のもの）
- (2) 卒業証明書又は卒業見込証明書（本学出身者は不要）
- (3) 推薦書 指導教官又は主任教官等により作成されたもの（形式随意、用紙はB5判縦長横書とする。）
（本学出身者は不要）
- (4) 調査書 用紙は本学所定のもの
- (5) 健康診断書 用紙は本学所定のもの
- (6) 写真 正面上半身の名刺型（4.5cm×5.5cm）で出願前3か月以内に撮影したもの2枚。（写真票及び受験票に貼付）
- (7) 受験許可書 在職中の者は所属長の許可書を添えること。
- (8) 入学検定料 24,000円

上記出願書類を一括し、検定料を添えて所定の期日までに本学に提出すること。

※郵送（締切日までの消印有効）により出願する際は、書留速達とし、「大学院家政学研究所入学願書在中」と朱書すること。

なお、検定料（郵便為替とし、受取人欄に「お茶の水女子大学」とだけ記入）と受験票返送用封筒（あて先を表記し、62円切手を貼付）を同封すること。

6. 出願期間・選考期日・願書受付場所

専攻名	第1次募集		第2次募集		備考
	出願期間	選考期日	出願期間	選考期日	
児童学専攻 食物学専攻 被服学専攻 家庭経営学専攻	平成3年 8月19日（月） ～ 8月23日（金）	平成3年 9月10日 （火）	平成4年 1月13日（月） ～ 1月17日（金）	平成4年 2月4日 （火）	各専攻で第1次募集の合格者が定員に満たない場合には第2次募集を行うことがある。

- (1) 受付時間 平日 午前9時～午前11時30分 午後1時～午後3時

(2) 受付場所 〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号 電話(03)3943-3151 (大代表)

本学家政学部事務部

(都バス大塚2丁目又は地下鉄茗荷谷あるいは護国寺下車)

7. 日時割及び試験場所

(1) 筆記試験・口述試験

専攻名	筆 記 試 験			口 述 試 験 14:40~
	第一外国語 9:00~10:30	第二外国語 10:45~11:30	専 門 科 目 12:30~14:30	
児 童 学 専 攻	英 語 I	英語II, 独語, 仏語の内一	児童学(発達・保健・臨床・福祉・ 保育・文化)	専攻(学士論文の ある者は学士論文 を含む)について 行う。

ア. 第二外国語の受験に際して独語、仏語を選択した者は辞書を携行して差支えない。

イ. 児童学専攻志願者は、①大学院における研究計画書(B5判・400字・横書原稿用紙5枚)及び②口述試験面接票を出願の際提出すること。

専 攻 名	筆 記 試 験		口 述 試 験 15:40~
	外 国 語 10:00~11:30	専 門 科 目 12:30~15:30	
食 物 学 専 攻	英 語	1) 一般化学 2) 栄養学・食品学・食品貯蔵学・調理学	専攻(学士論文の ある者は学士論文 を含む)について 行う。

専 攻 名	筆 記 試 験			口 述 試 験 15:40~
	第一外国語 9:30~10:30	※第二外国語 10:45~11:30	専 門 科 目 12:30~15:30	
被 服 学 専 攻	A 被服材料学 被服整理学	英 語	1) 一般化学(有機・無機・物理 化学) 2) 被服材料学(繊維化学を含 む)・被服整理学(染色化学を 含む) 3) 論 文	専攻(学士論文の ある者は学士論文 を含む)について 行う。
	B 被服構成学		英 語	
	C 被服美学	英語, 独語, 仏 語の内一	1) 服飾美学(服飾史を含む) 2) 論 文	
	D 流行情報論	上記 A, B, Cのいずれかで受験すること。		

ア. ※第二外国語の受験に際しては辞書を携行して差支えない。

イ. 被服学専攻志願者は、選択科目名を入学願書及び写真票に記入すること。

専攻名	筆記試験			口述試験 15:40～
	第一外国語 9:30～10:30	第二外国語 10:45～11:30	専門科目 12:30～15:30	
家庭経営学専攻	英語 I (英文和訳)	英語 II (和文英訳)	家政学原論・家庭経済学・家族関係学	専攻(学士論文のある者は学士論文を含む)について行う。

ア. 英語IIの受験に際しては辞書を携行して差支えない。

イ. 家庭経営学専攻志願者は、①大学院における研究計画及び②卒業研究要旨又はこれにかわるものをそれぞれB5判・400字・横書原稿用紙2枚にまとめて出願の際提出すること。

(2) 試験場所 お茶の水女子大学(東京都文京区大塚2丁目1番1号)

8. 入学金及び授業料

入学金 230,000円

授業料(年間) 375,600円

9. 合格者発表

第1次募集で合格した者には平成3年9月19日(木)、第2次募集を行った場合は4年2月13日(木)に本人に通知するとともに学内にその氏名を掲示する。

10. 健康診断

健康診断は健康診断書による。この診断書による検査の結果、本学において更に必要と認められた者に対しては精密検査を行う。

11. 注意事項

(1) 出願書類等の請求又は照会のあて先はすべて本学「家政学部事務部」とし、返信用封筒(あて先を表記し72円切手を貼付)を同封すること。

(2) 出願手続後の書類変更や検定料の払い戻しはできない。

(3) 第2次募集実施の有無は第1次の合格発表と同時に発表する。

(4) 合格、不合格に関する問い合わせには一切応じない。

○お茶の水女子大学大学院家政学研究科修士課程概要

1. 目的及び使命

本学大学院は、本学の目的に則り、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的とする。

2. 専攻及び学生定員 家政学研究科に次の専攻をおき、学生定員は次のとおりとする。

専攻名	入学定員	総定員
児童学専攻	8	16
食物学専攻	10	20
被服学専攻	8	16
家庭経営学専攻	6	12
計	32	64

3. 授業科目履修方法及び課程の修了

(1) 学生は2年以上在学し、それぞれの専攻課程の授業科目について30単位以上履修しなければならない。

ただし、専攻課程担当の指導教官が当該学生の研究上特に必要と認めた場合に限り、指導教官の指定する他の専攻課程・他研究科及び学部の授業科目を履修して、これを修士課程の単位とすることができる。

(2) 課程の修了には、2年以上在学し所要の単位を修得し、かつ学位論文を提出して最終試験に合格しなければならない。

4. 学位授与 本研究科において、課程を終了した者に対しては、修士の学位を授与する。

5. 専攻別授業科目・担当教官

専攻	授業科目名	担当教官	授業科目名	担当教官
児童学専攻	人間関係学特論	教授 黒田 淑子	児童学特別研究	全専任教官
	児童心理学特論	助教授 無藤 隆	児童学特別講義	教授 原 ひろ子
	児童文化特論	教授 本田 和子	児童発達学特論	講師 柴坂 寿子
	臨床心理学特論	助教授 飯長 喜一郎	児童学研究特論	講師 (兼任)
	保育学特論	講師 田代 和美	人間環境学特論	〃 〃
	発達臨床学特論	〃 〃	児童臨床学特論	〃 〃
	発達神経学特論	教授 水野 悌一	児童保健学特論	〃 〃
	言語治療特論	講師 山本 政人	児童社会特論	〃 〃
	教育法制特論	未定	集団理論特論	〃 〃
	青少年問題論特論	〃	児童臨床特別実習	〃 〃
	比較家族思想史特論	講師 杉田 孝夫		
児童福祉特論	〃 〃			
食物学専攻	栄養化学特論Ⅰ	教授 荒川 信彦	生物化学特論第Ⅱ	教授 倉田 忠男
	栄養化学特論Ⅱ	助教授 大塚 恵	環境生化学特論	教授 大橋 昌子
	食品化学特論Ⅰ	教授 小林 彰夫	食品微生物学特論	助教授 富永 典子
	食品化学特論Ⅱ	助教授 久保田 紀久枝	食物学特別研究	全専任教官
	食品貯蔵学特論Ⅰ	教授 本間 清一	栄養生理学特論	講師 (兼任)
	食品貯蔵学特論Ⅱ	講師 村田 容常	特殊栄養学特論	〃 〃
	調理学特論Ⅰ	教授 島田 淳子	食品物性特論	〃 〃
	調理学特論Ⅱ	助教授 畑江 敬子	食物学特別講義	〃 〃
	生物化学特論第Ⅰ	教授 五十嵐 脩		

専攻	授業科目名	担当教官	授業科目名	担当教官
被服学専攻	被服材料学特論	教授 小川 昭二郎	流行情報特論	教授 板倉 寿郎
	被服材料化学特論	” ”	情報設計特論	” ”
	生活材料学特論	講師 仲西 正	被服学輪講	全専任教官
	生活材料化学特論	” ”	被服学特別研究	” ”
	被服整理学特論	教授 中島 利誠	被服物理学特論	講師 (兼任)
	被服環境学特論	” ”	高分子科学特論	” ”
	染色化学特論	助教授 駒城 素子	繊維構造論	” ”
	洗淨科学特論	” ”	被服衛生学特論	” ”
	被服構成学特論Ⅰ	助教授 長谷部 ヤエ	繊維界面化学	” ”
	被服構成学特論Ⅲ	” ”	応用界面化学	” ”
	被服構成学特論Ⅱ	講師 田辺 新一	被服構成学特論Ⅴ	” ”
	被服構成学特論Ⅳ	” ”	被服構成学特論Ⅵ	” ”
	服飾美学特論Ⅰ	教授 小池 三枝	服飾史特論Ⅰ	” ”
	服飾美学特論Ⅲ	” ”	服飾史特論Ⅱ	” ”
	服飾美学特論Ⅱ	助教授 徳井 淑子	芸術学特論	” ”
服飾美学特論Ⅳ	” ”	被服学特別講義	” ”	
家庭経営学専攻	家政学原論特論Ⅰ	教授 富田 守	比較家族研究特論	教授 袖井 孝子
	家政学原論特論Ⅱ	助教授 松浦 秀治	家族関係学特論	教授 湯沢 雅彦
	生活史特論	” ”	家庭法律学特論	” ”
	生活行動論特論	教授 富田 守	家庭科教育特論Ⅰ	助教授 牧野 カツコ
	家庭管理学特論Ⅰ	” ”	家庭科教育特論Ⅱ	” ”
	家庭管理学特論Ⅱ	未定	居住学特論	未定
	家庭経済学特論Ⅰ	助教授 篠塚 英子	家庭経営学特別講義	教授 原 ひろ子
	家庭経済学特論Ⅱ	未定	家庭経営学特別研究	全専任教官
	経営経済学特論	助教授 犬塚 伝也	消費者行動論	講師 (兼任)
	家族社会学特論	教授 袖井 孝子	人間行動学特論	講師 柴坂 寿子

○平成3年度科学研究費補助金配分決定一覧

種目	研究代表者 所属・職	氏名	決定額 (千円)	研究課題
重点領域(1)	理学部教授	平野 恒夫	22,000	量子化学計算による星間分子の構造と化学反応の理論的予測
重点領域(2)	文教育学部講師	杉谷 隆	1,000	1 kmメッシュ・データにもとづく流域単位の地質条件の解析
”	理学部助教授	益田 祐一	1,500	高粘性溶液における協同的分子運動の研究
総合研究A	理学部教授	内嶋 善兵衛	2,900	大規模な人為的気候変化のわが国の自然生態系・農業と社会システムへの影響評価に関する研究
”	文教育学部教授	米村 昭二	2,000	北海道移住と定着過程の社会学的研究
”	文教育学部助教授	江原 由美子	1,300	微視的権力状況における会話分析
”	文教育学部助教授	藤山 和子	2,000	中国近現代文学における女子日本留学生の実態とその果たした意義に関する総合的研究
一般研究B	理学部助教授	太田 隆夫	600	反応拡散系における興奮場の自己組織化
”	文教育学部教授	藤永 保	1,000	「感情」の基礎メカニズムの検討

種 目	研究代表者 所属・職	氏 名	決定額 (千円)	研 究 課 題
一般研究B	理学部教授	福 田 豊	800	複核錯体の立体構造制御とクロモトロビズム
一般研究C	理学部助教授	渡 辺 洋 子	300	日本産淡水海綿の分類と分布
〃	家政学部教授	小 林 彰 夫	500	茶香気形成機構とその先駆体の検索
〃	家政学部教授	島 田 淳 子	700	調理における調味機構の解析
〃	家政学部教授	小 川 昭二郎	500	高速液体クロマトグラフィーによる汗の分析
〃	家政学部助教授	牧 野 カツコ	1,000	家庭科教育における家族・保育領域の教育内容と指導方法の研究
〃	家政学部助教授	無 藤 隆	1,000	幼児における文字の読み書きと読書の技能と信念に関する継続的研究
〃	理学部助教授	桂 利 行	1,300	主偏極アーベル多様体のモジュライ空間と類数
〃	理学部助教授	前 田 ミチエ	1,300	関数空間と測度
〃	理学部助教授	竹 尾 富貴子	1,500	バナッハ空間上の作用素の解析
〃	理学部助手	松 浦 悦 子	1,300	ショウジョウバエにおけるミトコンドリアの選択的伝達の温度依存性に関する研究
〃	生活環境研究センター教授	倉 田 忠 男	1,500	食嗜好の形成初期過程に関する多面的解析
〃	家政学部教授	水 野 悌 一	2,000	注意欠陥・多動障害児の大脳半球間伝達機能
〃	家政学部教授	荒 川 信 彦	2,000	疲労回復へのビタミンCの効用に関する研究
〃	家政学部助教授	畑 江 敬 子	2,000	新素材、仙草抽出物のゲル特性と嗜好性
一般研究C萌	文教育学部教授	内 田 伸 子	1,100	子どものコミュニケーション行動を促す大人の援助 —子どもと大人のコミュニケーションをスムーズにする要因の検討—
〃	文教育学部助教授	耳 塚 寛 明	900	ジェンダーと進路形成過程 メリトクラシーとセクシズムの交差の観点から
一般研究C時	理学部助手	室 伏 きみ子	800	核マトリックスにおけるDNA合成とその制御機構
奨励研究A	家政学部講師	柴 坂 寿 子	900	幼児の泣きへの応答性に関わる集団的文化的要因の検討
〃	理学部助手	浅 本 紀 子	900	数式、図式等を含む文書の編集・整形・印刷システム
〃	理学部助教授	益 田 祐 一	900	スピソクロソオーバー錯体におけるスピン状態緩和速度と溶媒効果
〃	理学部助手	豊 島 陽 子	900	ATPによるダイニン・微小管系の運動阻害の機構
〃	家政学部講師	山 本 政 人	1,000	乳幼児のコミュニケーションシステムの発達 —家庭と保育場面における検討—
〃	家政学部講師	仲 西 正	1,000	高吸水性高分子の吸水機構と高齢者用オムツ素材への応用
〃	文教育学部講師	杉 谷 隆	1,000	人工衛星航法装置を用いた河岸段丘形態の計測
奨励研究A萌	文教育学部助手	加 藤 知佳子	800	視線の知覚に関わる画像情報分析と計算モデルの作成
〃	人間文化研究科助手	相 庭 洋 子	800	社会教育における公民形成の研究 —女性の労働と政治参加の問題を中心に—
〃	文教育学部講師	本 田 郁 子	800	映像解析による民族舞踊の運動表現分析方法の検討
〃	理学部助手	小 川 温 子	800	マメ科植物レクチンの構造と進化
試験研究B(2)	家政学部教授	中 島 利 誠	9,200	衣服の着用快適感評価装置の開発
合		計	73,800	

○平成3年度お茶の水女子大学公開講座要項

1. 講座名 「これからどうなる」

○講座のねらい

本年の講座『これからどうなる』は、激動する社会情勢を考えて、「これからどうなる」かを、多様な分野の観点から講義するものです。

具体的内容には、教育、音楽、哲学、女性学、生命科学、情報科学、環境問題、家庭などの分野での問題を扱いますが、そこには、本学公開講座の特色でもある学際的な考察も含まれます。

○日程及び学習内容 全日程とも土曜日の午後1時30分～4時40分

実施日程		学習課題	講師名
9月28日 土曜日	13:30～15:00	これからどうなる	学 長 河 野 重 男
	15:10～16:40	哲学の立場から	文教育学部 教授 吉 田 夏 彦
10月5日 土曜日	13:30～15:00	音楽における伝統とその未来	文教育学部 教授 徳 丸 吉 彦
	15:10～16:40	日本の家族はどう変わっていくか	家政学部 教授 湯 沢 雍 彦
10月12日 土曜日	13:30～15:00	環境変化に対応するには	生活環境研究センター 助教授 富 永 典 子
	15:10～16:40	近未来の地球環境	理学部 教授 内 嶋 善 兵 衛
10月19日 土曜日	13:30～15:00	女性学の立場から	文教育学部 助教授 江 原 由 美 子
	15:10～16:40	労働力不足と女性労働	家政学部 助教授 篠 塚 英 子
10月26日 土曜日	13:30～15:00	生命科学の世界	理学部 教授 石 和 貞 男
	15:10～16:40	情報科学これからどうなる	理学部 教授 細 矢 治 夫

○受講資格 社会人を対象として、学歴、資格、性別を問いません。

○募集人員 220名

○受講料 4,120円(全日程を通した額)

○会場 お茶の水女子大学 一般教育2号館

○申込方法 はがきにより申し込みください。(先着順に受付)

はがきに、①(講座のテーマ)「これからどうなる」

②住所③氏名④年令⑤性別⑥連絡先電話番号を明記のうえ、8月26日(月)までに申込先宛お送りくだ

さい。

なお、8月29日(休)と8月30日(金)の午前10時から午後4時の間に限り、電話による申し込みを受け付けます。

申込受付専用電話番号 03(5395)4221

※この電話は、受付期間以外は使用できません。

○受講手続 申し込みを済まされた方は、別途お知らせする期日までに受講料を納入してください。

※受講料の領収をもって手続き完了とさせていただきます。

なお、受講許可書等の発行はいたしませんので、あらかじめ御了解願います。

※指定する期日までに手続きされなかった場合には、受講を辞退されたものとみなさせていただきます。

※一度納入された受講料は、お返しできません。

○修了証書 全講義中、4日以上出席された方には修了証書を差し上げます。

○申込宛先及び問合せ先

〒112 東京都文京区大塚 2-1-1

TEL 03 (3943) 3151 (代表)

お茶の水女子大学 学生部 学務課

公開講座担当係(内線259)

地下鉄丸ノ内線 茗荷谷駅下車徒歩7分

地下鉄有楽町線 護国寺駅下車徒歩7分

JR 線大塚駅から都営バス (都02番)

大塚2丁目停留所前

JR 線池袋駅から都営バス (池67番)

大塚2丁目停留所前

2. 講座名 「女性と大学教育」

○講座のねらい

近年、大学への女性の進学率が大きく増大しています。それと並行して、大学で教育や研究に携わる女性の比率も少しずつ大きくなってきています。

女性にとっての大学教育の意義を捉え直す時期にきている今日、この講座では第一に、19世紀以来、「男の場所」と考えられていた大学に、女性が参加していくことを国際的視点から眺めます。第二に、女子大学と共学大学において女性が学ぶということを、21世紀の社会に向けて、展望し考えていきたいと思えます。

○日程及び学習内容 全日程とも土曜日の午後1時30分～

実施日程		学習課題	講師名
11月16日 土曜日	13:30~15:00	女性と大学教育	お茶の水女子大学 学長 河野重男
		国際的にみた女性と大学教育	お茶の水女子大学 教授 原ひろ子
	15:10~16:40	女性と自然科学	東洋大学 教授 八木江里
11月30日 土曜日	13:30~14:30	女性の大学教育 —その歴史と現状—	お茶の水女子大学 講師 館かおる
	14:40~15:40	家政系女子大学の歴史的背景	和洋女子大学 教授 山本禮子
	15:50~16:50	共学大学における女子学生 —早稲田大学の場合—	早稲田大学 教授 小林富久子
12月7日 土曜日	13:30~15:00	大学と女性学 (パネルディスカッション)	昭和女子大学 教授 伊藤セツ
			東京大学 助教授 大澤真理
	専修大学 助教授 鐘ヶ江晴彦		
	お茶の水女子大学 教授 原ひろ子		
15:10~16:40			

○受講資格 社会人を対象として、学歴、資格、性別を問いません。

○募集人員 200名

○受講料 3,290円(全日程を通した額)

○会場 お茶の水女子大学 一般教育2号館

○申込方法 はがきにより申し込みください。(先着順に受付)

はがきに、①(講座のテーマ)「女性と大学教育」

②住所③氏名④年令⑤性別⑥連絡先電話番号を明記のうえ、10月25日(金)までに申込先宛お送りください。

なお、10月30日(木)と10月31日(金)の午前10時から午後4時の間に限り、電話による申し込みを受け付けます。

申込受付専用電話番号 03(5395)4221

※この電話は、受付期間以外は使用できません。

○受講手続 1の講座と同じ

○その他 全講義出席された方で、ご希望の方には修了証書を差上げます。

○申込宛先及び問合せ先

1の講座と同じ

○学生の在籍数等について(平成3.6.1現在)

学 部

学部	学 科	入学定員	現 員					計
			1年	2年	3年	4年		
文 数 育 学 部	哲 学 科	24	24	23	27	27	101	
	史 学 科	23	23	26	24	28	101	
	地 理 学 科	22	25	24	22	23	94	
	国 文 学 科	35	36	36	39	37	148	
	外国 文学 科	中国文学・中国語学	12	13	15	12	13	53
		英文学・英語学	37	39	37	30	40	146
		仏文学・仏語学	8	11	11	10	14	46
	教学 育科	教 育 学	23	23	24	32	22	101
		心 理 学	17	23	16	19	22	80
		舞踊 学 教 科	舞 踊 教 育 学	18	18	21	18	19
音 楽 教 育 学	13		13	16	13	17	59	
	計	232	248	249	246	262	1005	
理 学 部	数 学 科	25	27	25	26	25	103	
	物 理 学 科	25	26	25	26	32	109	
	化 学 科	25	28	25	26	29	108	
	生 物 学 科	27	28	27	28	30	113	
	情 報 科 学 科	40	41	41	—	—	82	
	計	142	150	143	106	116	515	
家 政 学 部	児 童 学 科	35	44	43	40	42	169	
	食 物 学 科	35	39	36	41	36	152	
	被 服 学 科	36	36	39	35	47	157	
	家 庭 経 営 学 科	30	40	33	38	35	146	
	家 庭 科 教 員 養 成 課 程	10						
	計	146	159	151	154	160	624	
合 計		520	557	543	506	538	2144	

大学院

研究科	専攻	入学定員	現 員		
			1年	2年	計
人文科学研究科 (修士課程)	哲学専攻	8	7	12	19
	史学専攻	7	9	15	24
	地理学専攻	6	3	5	8
	日本文学専攻	6	10	22	32
	中国文学専攻	3	5	6	11
	英文学専攻	7	5	15	20
	教育学専攻	11	15	31	46
	舞踊教育学専攻	10	15	24	39
	日本言語文化専攻	12	15	—	15
	計	70	84	130	214
理学研究科 (修士課程)	数学専攻	10	8	5	13
	物理学専攻	10	9	5	14
	化学専攻	10	10	7	17
	生物学専攻	10	9	13	22
	計	40	36	30	66
家政学研究科 (修士課程)	児童学専攻	8	10	8	18
	食物学専攻	10	14	13	27
	被服学専攻	8	9	6	15
	家庭経営学専攻	6	6	10	16
	計	32	39	37	76
合 計		142	159	197	356

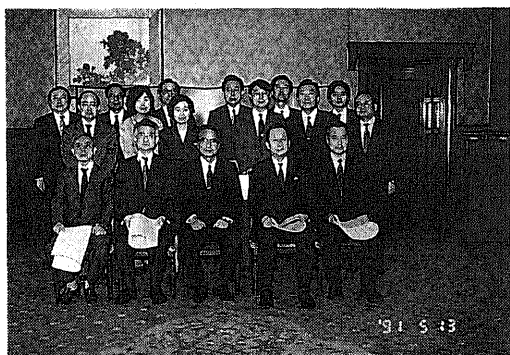
研究科	専攻	入学定員	現 員			
			1年	2年	3年	計
人間文化研究科 (博士課程)	比較文化学専攻	16	13	23	58	94
	人間発達学専攻	10	8	6	20	34
	人間環境学専攻	9	7	2	4	13
	計	35	28	31	82	141

諸 報

○名誉教授の称号授与について

下記の方に本学名誉教授の称号が授与されました。

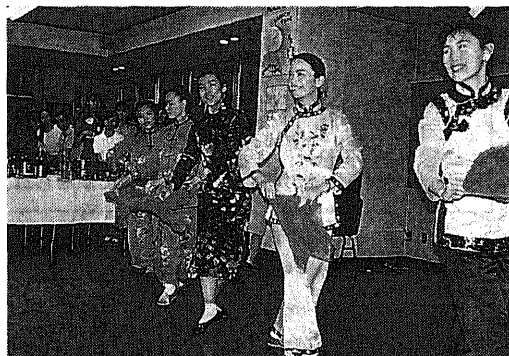
(授与年月日)	(氏名)	(元官職)
3.4.24	立花俊一	理学部教授
3.4.24	橋爪夏樹	理学部教授
3.4.24	太田次郎	理学部教授
3.4.24	津守真	家政学部教授
3.4.24	田口恒夫	家政学部教授



(名誉教授称号授与式)

○外国人留学生懇談会について

6月19日(木)午後5時より大学食堂に於て、外国人留学生懇談会が開催され、100余名の留学生が参加し、教職員と和やかな懇談が行われた。



(民族舞踊を披露する台湾の留学生)

○海外渡航

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航種目
家政学部・教授	袖井孝子	デンマーク王国 ノルウェー王国	デンマークにおける老人介護政策の研究及びコペンハーゲン大学社会医学研究所プログラムに参加	3.5.25～ 3.6.5	海外研修
理学部・教授	細矢治夫	ユーゴスラビア 社会主義連邦共和国・ドイツ連邦共和国	第4回国際数理及び計算化学会議にて招待講演及びハノーバー大学にて講演	3.5.30～ 3.6.9	外国出張

○研 修

名 称	実 施 日 時	対 象 者	終 了 者	主 催
平成3年度 五大学等事務系初任職員研修	平成3年5月21日 ～5月24日	五大学等に、原則として実施時期から、過去1年間に、新規採用された事務系職員（行政職俸給表（一）の適用者に限る。）とする。	理学部 一般係員 松本陽子	東京外国語大学 東京芸術大学 東京商船大学 東京水産大学 学術情報センター 及びお茶の水女子大学

計 報

文教育学部教授平野孝氏には、病気のため平成3年6月20日逝去されました。享年58才。
ここに謹んで哀悼の意を表します。
なお、生前の功績により正四位に叙せられ、勲三等瑞宝章を授与された。

日 誌

◇諸 会 議

- | | |
|--|---|
| 4月15日（月） 外国人留学生委員会
附属学校委員会 | 5月8日（水） 将来構想委員会
国立学校等施設整備事務連絡会議
（於東京医科歯科大学） |
| 16日（火） 部局長会議
各学部学科主任会議
自然科学紀要編集委員会 | 9日（木） 第52国立7大学理学部長会議
（10日まで） |
| 17日（水） 各学部教授会・研究科委員会 | 10日（金） 事務連絡会議 |
| 22日（月） 一般教育委員会 | 13日（月） 女性文化研究センター運営委員会
人文科学紀要編集委員会 |
| 23日（火） 部局長会議
入学試験委員会
将来構想検討委員会 | 14日（火） 部局長会議
理学部入学者選抜方法検討委員会 |
| 24日（水） 評 議 会
人間文化研究科会議
学生委員会・学寮委員会
附属学校委員会
附属学校教育研究委員会 | 15日（水） 一般教育委員会
外国人留学生委員会
学寮委員会・学寮協議会 |
| 25日（木） 関東甲信越地区国立学校等会計部
課長会議
（26日まで於ガーデンパレス）
入学者選抜方法研究委員会 | 16日（木） 授業料免除選考委員会
17日（金） 入学者選抜方法研究委員会
理学部極低温実験室運営委員会 |
| 30日（火） 学芸員課程委員会 | 20日（月） 第11回国立大学入学者選抜研究連
絡協議会関東地区協議会
（於群馬厚生年金会館）
21日（火） 部局長会議
各学科主任会議
教務委員会 |

- 理学部附属臨海実験所運営委員会
理学部入学者選抜方法検討委員会
理学部ラジオアイソトープ実験室
運営委員会
- 22日(水) 各学部教授会、研究科委員会
附属学校教育研究委員会
文部省共済組合主管課長会議
(於国立科学博物館)
- 23日(木) 国立学校等経理部課長会議
(24日まで、於東京医科歯科大学)
- 24日(金) 附属学校委員会
総合コース小委員会
- 25日(土) 日本教育大学協会附属学校連絡協
議会
国立大学附属学校連盟總會
(26日まで、於大学講堂)
- 27日(月) 一般教育・教務合同委員会
総合コース小委員会
国立学校附属図書館事務部課長會
議(於東京医科歯科大学)
- 28日(火) 部局長会議
日本育英会奨学生選考会
- 29日(水) 評議会
人間文化研究科会議
第12回国立大学入学者選抜研究連
絡協議会(30日まで、於九段会館)
- 6月1日(土) 東京地区国公立大学体育大会第1
回委員会(於東京工業大学)
- 3日(月) 国立大学学生部次長課長會議
(於東京医科歯科大学)
- 4日(火) 国立学校等施設部課長會議
(5日まで、於東京医科歯科大学)
- 5日(水) 将来構想委員会
授業料免除選考会

- 6日(木) 予算委員会
国立学校等庶務部課長會議
(7日まで、於東京医科歯科大学)
- 7日(金) 事務連絡會議
- 10日(月) 施設計画委員会
情報処理センター運営委員会
平成3年度入学者選抜・教務関係連
絡協議会(於杉野講堂)
- 11日(火) 部局長會議
各学部学科主任會議
学生委員会
国立大学協会總會
(12日まで、於学生会館)
一般教育担当部局協議会總會
(於高知大学)
- 12日(水) 各学部教授会、研究科委員会
- 13日(木) 国立三大学附属学校部長・学校教育
部連絡會議
- 14日(金) 共用体育施設等管理運営委員会
国立大学協会事務連絡會議
(於学生会館)

◇行事等

- 4月17日(水) 教育実習オリエンテーション
- 18日(木) 人文科学研究科日本語文化専攻
合格発表
- 22日(月) 人文科学研究科日本語文化専攻
入学式
- 23日(火) 観察参加・教育実習説明会
- 5月8日(水) 平成3年度就職説明会
- 13日(月) 名誉教授称号授与式
- 15日(水) 小石川寮防火訓練
- 19日(日) 大山寮防火訓練
- 6月5日(水) 学生の定期健康診断(7日まで)
- 9日(日) 附属高等学校体育祭